

外部委託で約560万円かけてできた

第5次松前町 総合計画



曾我部 秀司 議員

第4次・第5次松前町総合計画について

問 人口について

①第4次では、目標人口は35,000人だが、目標達成に向け、どんなことに取り組んだか。

平成31年4月末現在で、人口30,882人と目標値にほど遠い結果だが、その原因は。

②第5次の目標達成に向けた取組は第4次とかわらない。人口が減少傾向で推移していくことが予測される中で、どのように取り組んでいくのか。

答 岡本町長

①第4次の目標人口は、今後の本町の発展を願い、期待を込めたもので、少子高齢化による人口減少社会の進行などにより、人口を増加させるには至らなかった。

第4次の主要施策で人口増加につながるものとして「計画的な市街地整備の推進」などがあるが、あま

り進捗が図られていない。

しかし、中学生までの医療費無償化やイメージアップ戦略など、間接的に人口増加につながるまちづくりを進めることで、一定の人口を保つことができたと考ええる。

本町は県下で2番目に減少率が低く、県内で唯一転入超過となるなど、ほぼ横ばい状態を保っており、これは成果であると考え

る。
②計画に示された大きな方針や表現が同じであったも、具体的な施策については、方針に基づき、時期ごとに社会情勢に合わせ、計画的に実施計画で定め、新たな取組として実施していく

問 内容について

①第4次の課題が第5次の「現状と課題」の中になくはないのなぜか。

②第4次の「地球温暖化

対策の推進」では、どんなことに取り組み、どんな成果や課題が出たか。

③第5次に「漁業経営体や後継者の育成・確保と定着促進」とあるが、どんなことに取り組んでいくのか。

答 和田総務部長

①第4次の課題と第5次の課題は、対象としている範囲が異なるためである。また、第4次の課題以外にも、今後の10年間を見据え、第5次で新たに実施しなければならぬものもあるため、これらを含めた表現としている。

答 重松町民課長

②節電の促進など公共施設の運用改善、夏のエアコン電力使用量削減を図るための本庁舎などにおける緑のカーテンの設置、文庫センターなどの照明・空調設備を更新する省エネ改修工事などを行い、

2018年度の温室効果ガス排出量を2010年度比で約6.5%削減できた。

答 平村産業課長

③本町の平成30年の状況は、就業者数36人、漁業経営体数16経営体で、10年前と比較すると、就業者数が17人減少、経営体数が4経営体減少している。

今後、本町の漁業が持続的に発展していくためには、意欲のある新規就業者を安定的に確保し、漁業への就業定着を図るとともに、経営能力の高い漁業者を育成していくことが課題となっており、こうした現状を踏まえ、研修・指導体制の強化が必要と考えている。

実施するのは研修・指導体制の強化であり、そのことによって企業の経営感覚を持つ漁業後継者の育成・確保に努め、経営の安定・強化を図っていくと考えている。

